

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用くださいますようお願いいたします。**お読みになった後は、大切に保管してください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用いただくために、特に注意していただくことを表示してあります。取り付けの前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願いいたします。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。 ■ 取り付け上のご注意（取り付け前に必ずお読みください）

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

⊘ 製品の取扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。

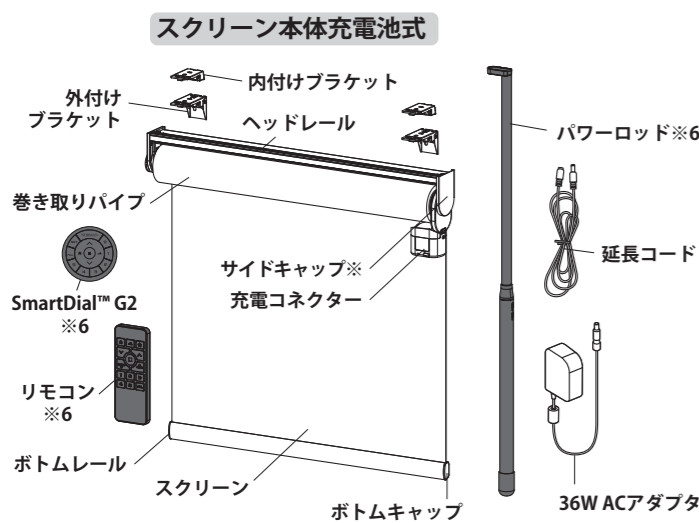
⊕ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

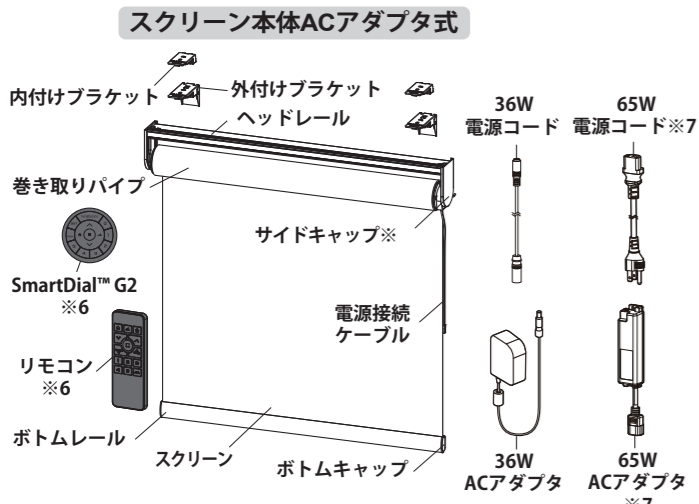
警告 ⊘ 無理な操作や乱暴な取扱いは、絶対におやめください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。
⊕ 製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあり、ケガや物を破損する原因となります。

注意 ⊘ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
⊕ 強風の時は、必ず窓を閉めるかスクリーンを畳んだ状態にしてください。製品の破損や思わぬ事故の原因につながる場合があります。
⊕ 昇降動作の範囲内に破損の恐れがある物や操作の障害となる物を置かないでください。また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。
⊕ 必ずリモコンや、手動スイッチで操作を行ってください。スクリーンやレールを持って操作を行わないでください。

製品全体図及び部品名称、付属部品

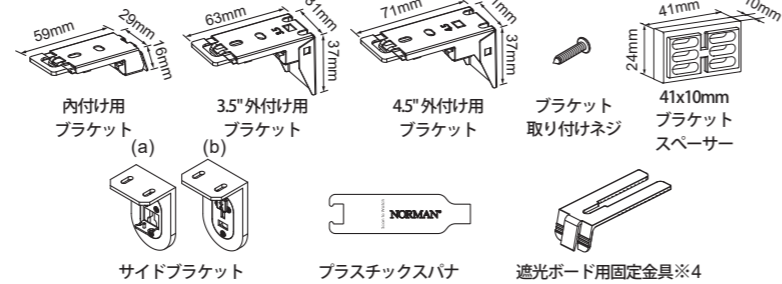


※ バランスオプションとプレミアムアクセントスタイルを選択された場合、サイドキャップは付属しません



※ バランスオプションとプレミアムアクセントスタイルを選択された場合、サイドキャップは付属しません

付属部品の数量



【窓枠天井付け、鴨居付け、カーテンボックス付けの場合】

製品幅(mm)	内付け用 ブラケット※1	ブラケット 取り付けネジ※2	サイド ブラケット※3	プラス チックスパナ※3
~1016	2	4		
1017~2032	3	6	2	1
2033~	4	8		

※1 プレミアムアクセントスタイルオプションを選択された場合、ブラケットは付属しません。
※2 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属しますが鴨居付けの場合は31mmのネジが付属します。
※3 プレミアムアクセントスタイルの場合のみ、サイドブラケット (a,b) とプラスチックスパナが付属します。サイドブラケット (a,b)のスクリーン取り付け面の形状が異なります。ネジは製品幅にかかわらず 4 本付属します。
※4 遮光ボード用固定金具は、プレミアムアクセントスタイルの遮光オプション選択時に付属します。数量については下記表をご参照ください。

製品幅(mm)	~1016mm	1017mm~1727mm	1728mm~2440mm	2441mm~
数量	2	3	4	5

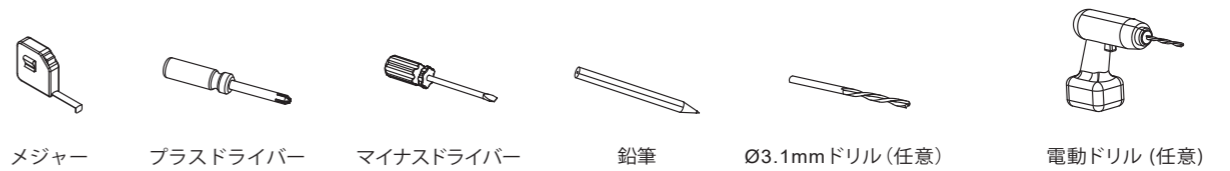
【窓枠正面付け、壁面付けの場合】

製品幅(mm)	3.5"外付け用 ブラケット※1	4.5"外付け用 ブラケット※1	ブラケット 取り付けネジ※2	41x24x10mm ブラケット スペーサー※5	サイド ブラケット※3	プラス チックスパナ※3
~1016	2	2	4	2		
1017~2032	3	3	6	3	2	1
2033~	4	4	8	4		

※1 プレミアムアクセントスタイルオプションを選択された場合、ブラケットは付属しません。
※2 ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど)には使用できません。通常は19mmのネジが付属します。壁面付けでブラケットスペーサー1個使用の場合は38mm、2連は51mm、3連は63.5mmのネジが付属します。
※3 プレミアムアクセントスタイルの場合のみ、サイドブラケット (a,b) とプラスチックスパナが付属します。サイドブラケット (a,b)のスクリーン取り付け面の形状が異なります。ネジは製品幅にかかわらず 4 本付属します。
※4 遮光ボード用固定金具は付属しません。
※5 上記ブラケットスペーサーの数量は1個の場合で、2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。ご指定がない場合(標準)、ブラケットスペーサーは付属しません。スペーサーが必要なときは漏れないよう、注文内容に十分ご注意ください。
※6 リモコンとパワーロッドとSmartDial™ G2の取扱説明書は各製品の説明書をご確認ください。
※7 幅が2440mmを超える場合は65W ACアダプタを付属します。

取り付け手順

取り付けの際にまず下記の道具をご用意下さい



取り付け手順は次の順になります。

- ① 製品の確認 → ② ブラケット/サイドブラケットの取り付け → ③ 遮光ボード用固定金具/遮光ボードの取り付け(オプション)※ → ④ スクリーン本体の取り付け → ⑤ 充電コネクタ電源ユニットを接続 → ⑥ 遮光サイドフレームの取り付け(オプション)※ → ⑦ 型バランスの取り付け(オプション)※
- ※ オプション選択のない場合、次のステップにお進みください。

1 製品の確認

- 内容物にキズがつかないように開梱し、下記部品が揃っていることをご確認ください。 ※オプションを選択した場合のみ
・スクリーン本体 ・付属品ボックス ・取り扱い説明書 ・保証書 ・オプションアイテム(※) ・オプション付属品(※)
- ※ オプションを選択した場合のみ
- 取り扱い説明書に従い、付属品ボックス内のパーツ数量を確認します。

注意 取り付けが完了するまで操作はしないでください。故障の原因になります。

2 ブラケットを取り付け

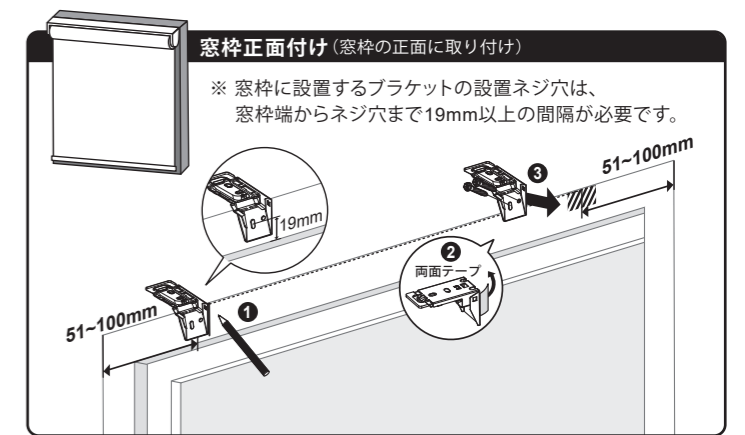
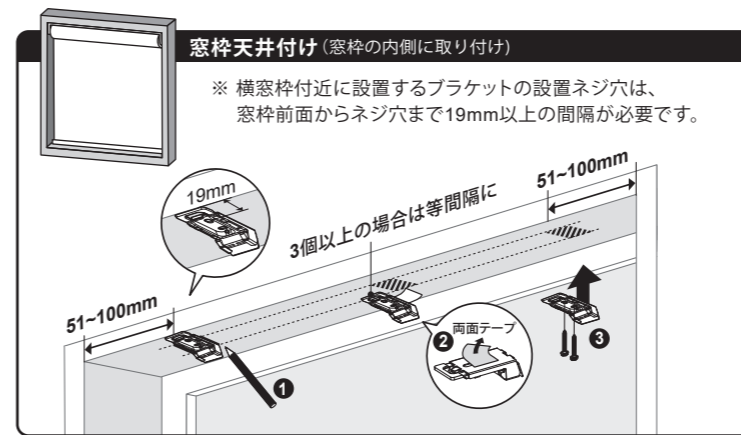
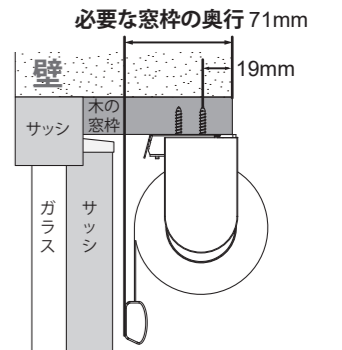
※プレミアムアクセントスタイルの場合、5のステップにお進みください。

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ブラケットをヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に両面テープで仮止めしてください。各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。

ご注意ください

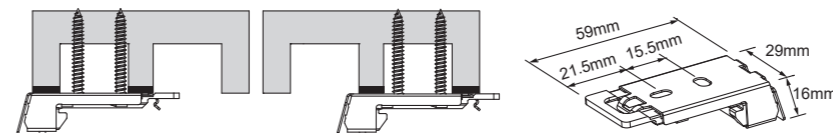
- ① 窓枠内の収まりについては仕様書のP60の必要寸法と規定ヘッドレール位置をご確認ください。
- ② 設置場所が最低奥行き寸法の場合、右図に従って、指定寸法を確保しネジを固定してください。

【重要】 ブラケットを設置後にご確認ください。ブラケットを取付け後に、まずブラケットの透明のプラスチックを押し、手を放した際に、プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してから、製品を取付けてください。もしプラスチック部品が反発しない場合、製品が落下する可能性がございます。ご注意ください。その際は、ネジを1回ほど緩めて、もう一度プラスチック部品が自動的に戻ることを確認してください。それでもプラスチック部品が反発しない場合、交換の必要があります。



鴨居付け

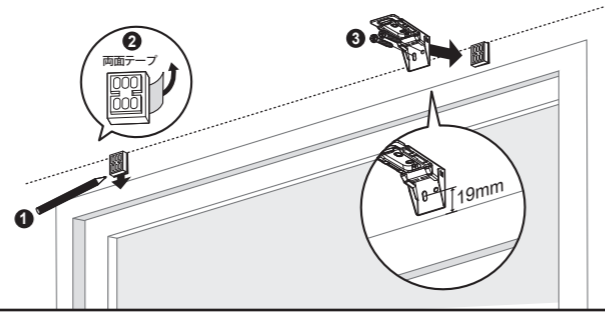
- ① ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所差し込み固定してください。
- ② ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。



※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

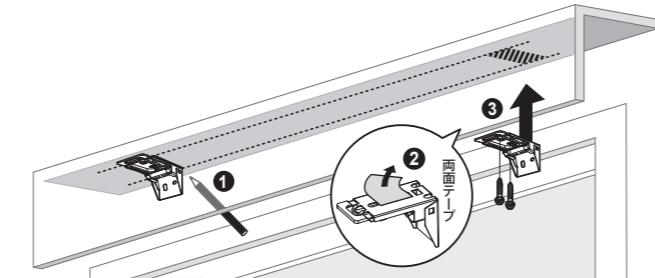
壁面付け (窓枠の上の壁面に取り付ける場合)

- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にはブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。
- 図のようにネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔を推奨します。



カーテンボックス付け (カーテンボックスの中に取り付け)

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約51~100mm内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が等間隔になるようにしてください。



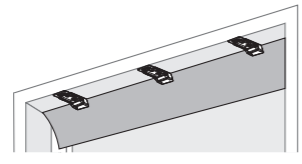
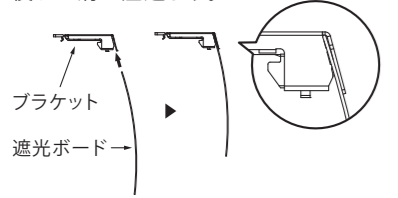
3 遮光ボードの取り付け・取り外し(窓枠天井付け・鴨居付けオプション)

※オプション: 遮光ボード無しの場合は省略

※プレミアムアクセントスタイルの場合は、手順5から行ってください。

遮光ボードの取り付け

遮光ボードを下部から上部のブラケット後ろの溝に差込みます。



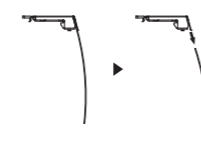
遮光ボードの向きについて

室外側に向けます
湾曲したボードの山側を室外側に向けます。

遮光ボードの取り外し

ブラケットから遮光ボードを取り外します。

※ ブラケットの返しツメにより、取り外す時には遮光ボードに疵がつくことがあります。



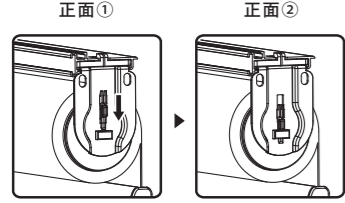
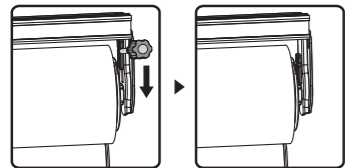
遮光ボードを矢印の方向に引き出すと、取り外すことができます。

4 スクリーン本体の取り付け・取り外し

スクリーン本体の取り付け

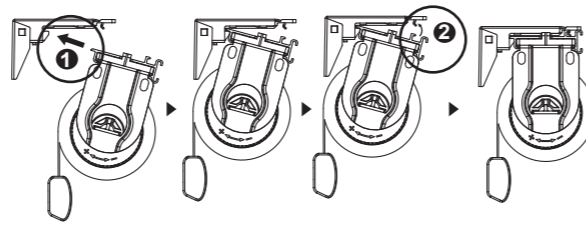
スクリーン本体を、下記の手順でブラケットに固定します。

- 図の通り、マイナスドライバーなどで矢印の方向にツマミを下ろしロック状態にします。



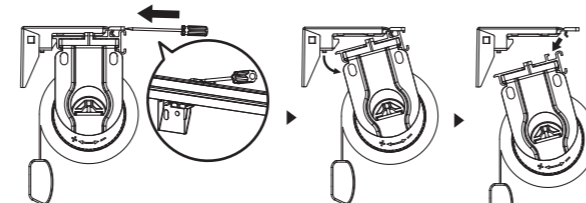
- スクリーン本体を、ブラケットに固定します。

- ① ヘッドレール後部突起部分をブラケット奥の樹脂部分に差し込みます。
- ② その後、ヘッドレール前部はめ込み部分をブラケットの先端のツメに押し込みしっかりと固定します。



スクリーン本体の取り外し

マイナスドライバーなどの工具を使い、ブラケットの樹脂部分を奥に押し込み、ブラケットからヘッドレールのロックを外します。

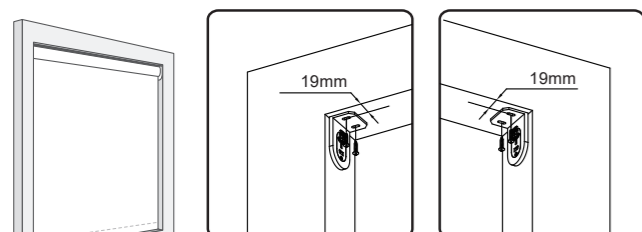


5 プレミアムアクセントスタイルの取り付け

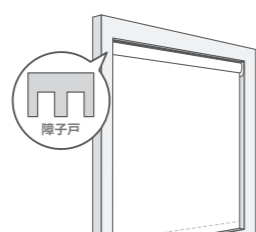
※オプション: プレミアムアクセントスタイル無しの場合は省略

サイドブラケットの取り付け

【窓枠天井付け】



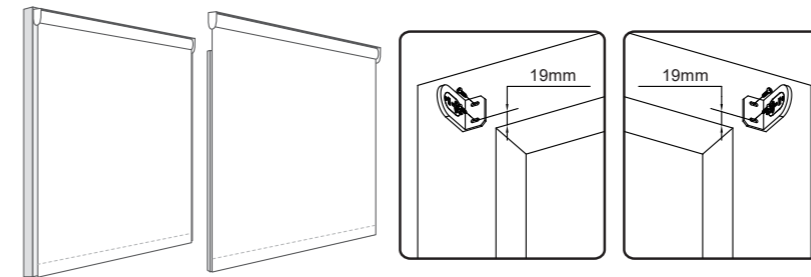
【鴨居付け】



※ サイドブラケットの設置ネジ穴は、窓枠前面からネジ穴まで19mm以上の間隔が必要です。

ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凹み箇所へ差し込み固定してください。ネジ穴まで19mm以上の間隔が必要です。※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的に問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

【窓枠正面付け】

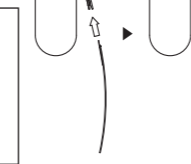
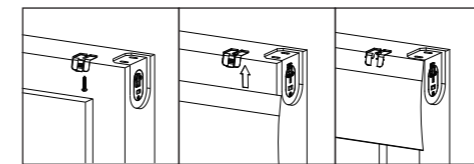


図のようにネジ穴から窓枠端まで19mm以上の間隔を推奨します。

遮光ボードの取り付け・取り外し

【遮光ボードの取り付け】

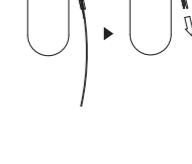
- ① 遮光ボード用固定金具の間隔が等間隔になるようにし、窓枠から後ろ製品にぶつからない位置にネジをしっかりと固定してください。
- ② 遮光ボードを下部から上部の遮光ボード用固定金具後ろの溝に差し込みます。



遮光ボードの向きについて
室外側に向けます
湾曲したボードの山側を室外側に向けます。

【遮光ボードの取り外し】

- 遮光ボード用固定金具から遮光ボードを取り外します。
- ※ 遮光ボード用固定金具の返しツメにより、取り外す時には遮光ボードにキズがつくことがあります。

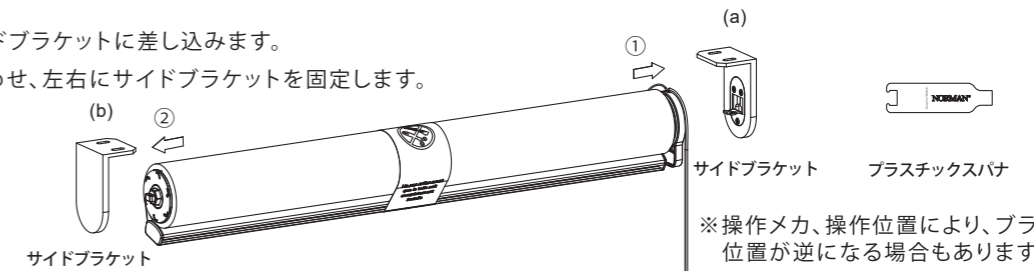


遮光ボードを矢印の方向に引き出すと、取り外すことができます。

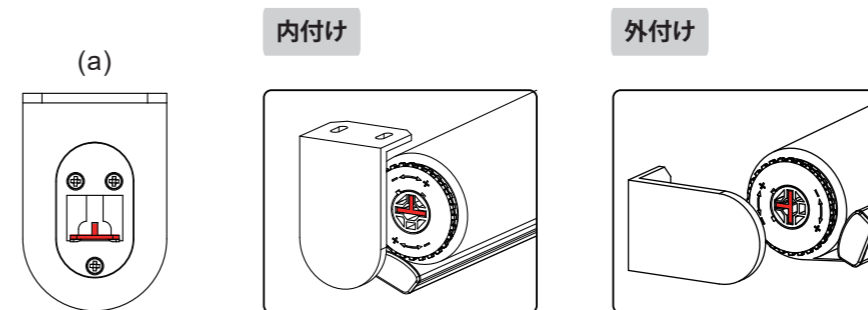
スクリーン本体の取り付け

図の通り、スクリーンをサイドブラケットに差し込みます。

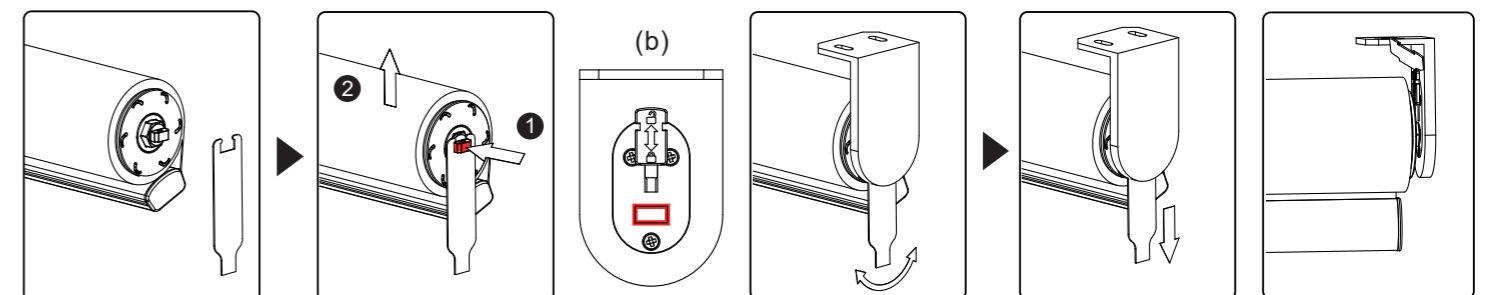
スクリーン本体の凹凸に合わせ、左右にサイドブラケットを固定します。



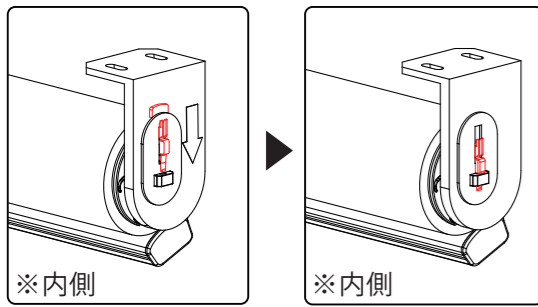
- ① サイドブラケット(a)に本体を差し込みます。



- ② スクリーン側面の出っ張り部分をもう一方のサイドブラケット(b)に差し込むため、まずプラスチックナナを本体の出っ張り部分に差し込み、サイドブラケット(b)の穴の位置に合わせます。

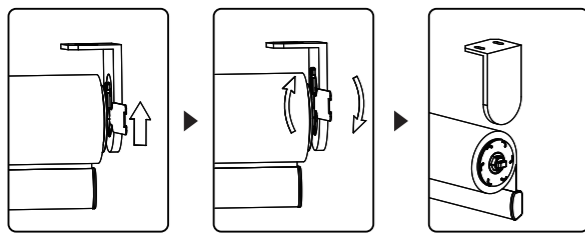


最後に、矢印の方向へツマミを下ろしてロック状態にします。



スクリーン本体の取り外し

プラスチックスパナを使用してサイドブラケットのツマミを上げ、スクリーン本体のロックを解除します。
続いて、プラスチックスパナを出っ張り部分に差し込み、サイドブラケットの穴からスクリーン本体を取り外します。



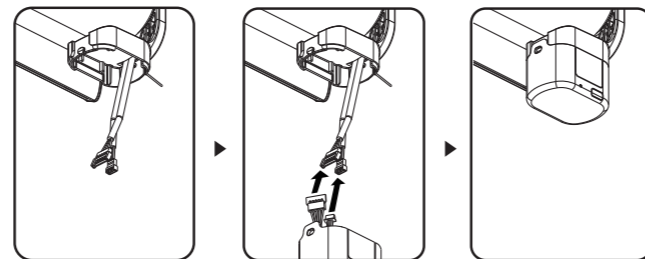
6 充電コネクター電源ユニットを接続

6-1 本体充電式のみ

スクリーン本体から出ている電源コードを充電コネクターの端子に接続します。
2本それぞれ端子の形状が違います。対応する端子同士接続を行ってください。

■スクリーン本体 充電式 電源起動手順

開梱時は電源が入っていません。手動スイッチを3秒長押しします。
起動後、表示灯が緑色に4回点滅します。



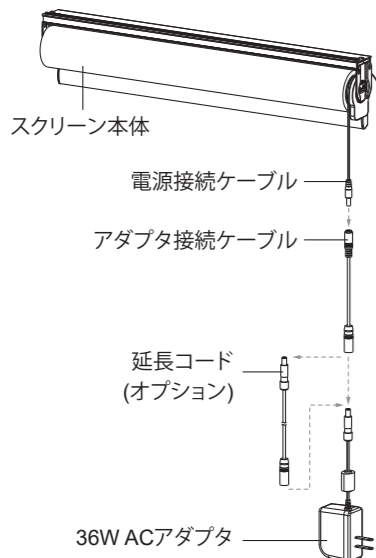
警告 必ず本体をブラケットに設置してから電源起動手順を行ってください。

ご注意ください 製品とパワーロッドはそれぞれ工場出荷時に動作確認のため充電を行っておりますが、製品使用前にはあらかじめ充電を行ってからご使用ください。

6-2 本体ACアダプタ式のみ

■36W ACアダプタを本体に接続するスクリーンに電源を入れる(図1)

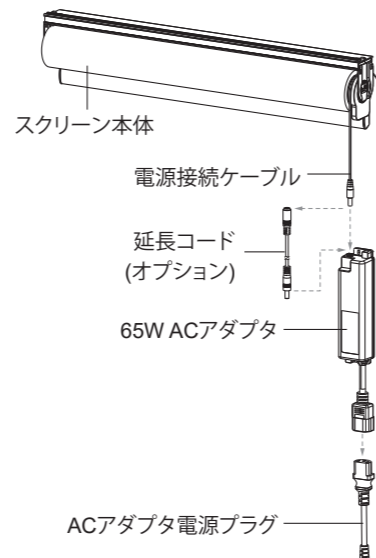
- 36W ACアダプタをアダプタ接続ケーブルに接続します。
- アダプタ接続ケーブルを本体の電源接続ケーブルに接続します。
※接続された状態で出荷されます
★延長コードの接続が必要な場合は、アダプタを先に延長コードに接続したのち、アダプタ接続ケーブル、電源接続ケーブルの順に繋げます。
- アダプタを電源に差し込みます。自動で指示灯が緑色に点滅し、スクリーンに電源が入った状態になります。



(図1)

■65W ACアダプタを本体に接続するスクリーンに電源を入れる(図2)

- 65W ACアダプタをスクリーン本体の電源接続ケーブルに接続します。
★延長コードの接続が必要な場合は、本体の電源接続ケーブルを先に延長コードに接続したのち、アダプタ、ACアダプタ電源プラグの順に繋げます。
- アダプタをACアダプタ電源プラグに接続します。
- アダプタを電源に差し込みます。自動で指示灯が緑色に点滅し、スクリーンに電源が入った状態になります。

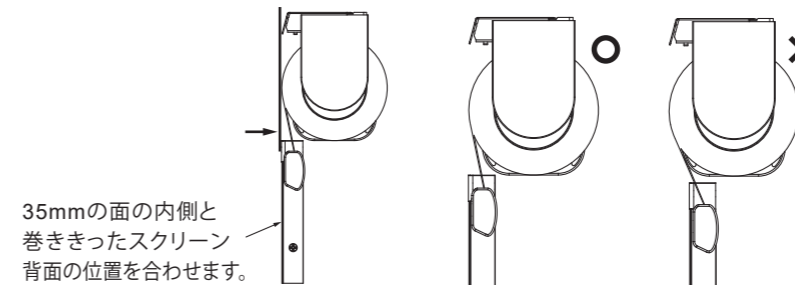
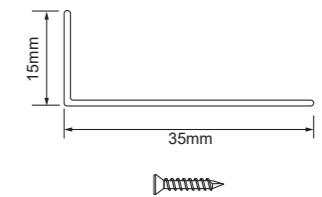


(図2)

7 遮光サイドフレームの取り付け(全仕様共通)

※オプション:遮光サイドフレーム無しの場合は省略

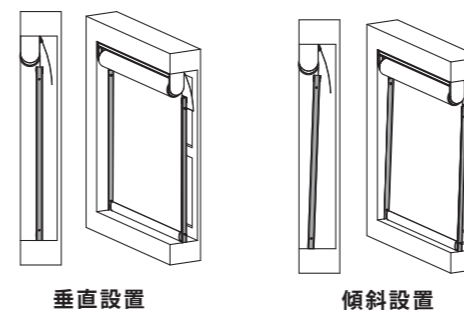
- 必ずスクリーン本体と遮光ボードの取り付け後に、遮光サイドフレームの取り付けをしてください。
- 遮光サイドフレームはスクリーン裏(室外側)に左右1本ずつ取り付けます。
 - 取り付けの前に、設置位置を確認し鉛筆でマークします。
 - 35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。
※巻き上がったスクリーンの位置は巻き代により変動します。



35mmの面の内側と巻ききったスクリーン背面の位置を合わせます。

注意 サイドフレームを設置する際、35mmの面が巻き取りパイプに近づけすぎないようにご注意ください。生地背面と遮光サイドフレームが干渉してしまう恐れがあり、生地に干渉してしまうと、破れや操作不良の原因となることがあります。

- 位置が決まったら、両面テープの剥離紙を取り、遮光サイドフレームを取り付けます。
- 遮光サイドフレームにネジ穴が上下各1箇所あります。
落下防止のため、最後に付属のネジでしっかりと締めてください。

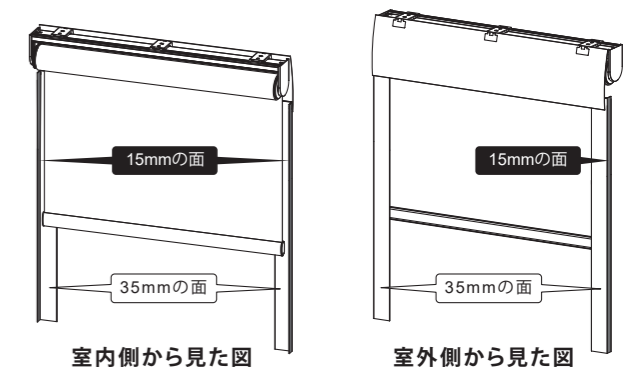


垂直設置

傾斜設置

遮光効果を高めるために、左図のように少し傾けて取り付けることも可能です。

- 設置完了イメージ
※遮光フレーム設置用18.5mmネジ、1台ごとに4本付属しています



室内側から見た図

室外側から見た図

注意 ネジは設置面に対し垂直に締めてください。ネジが斜めに固定されるとネジ頭が枠内に突出し、生地の昇降を妨げ、製品を破損する恐れがあります。

注意 サイドフレームは両面テープで取り付けるため、取り外しの際に壁紙を破損する可能性がございます。あらかじめご了承ください。

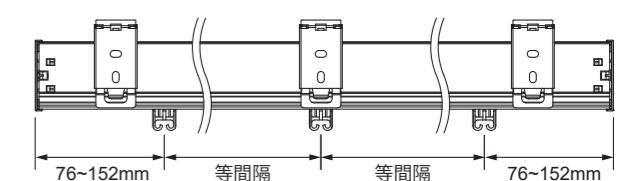
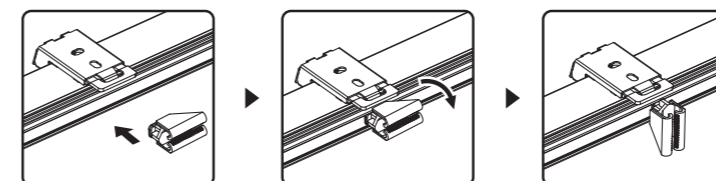
8 バランスの取り付け・取り外し(オプション)

※オプション:バランス無しの場合は省略

バランスの取り付け手順 本体を取り付け後、問題なく操作できることを確認次第、バランスを取り付けます。

① バランス固定ハンガーを取り付け

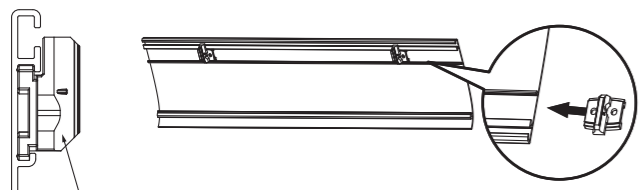
バランス固定ハンガーを水平にし、ヘッドレールの溝に入れ、垂直方向に回してください。



バランス固定ハンガーの設置位置は図のように両端から76~152mm、中間のハンガーは両端と等間隔が均等になるようにしてください。

② ハンガー固定ベースの取り付け

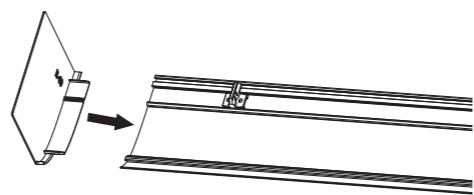
ハンガー固定ベースをバランス裏面のレールにスライドします。



ハンガー固定ベースの突出部分を上向きにしてください。

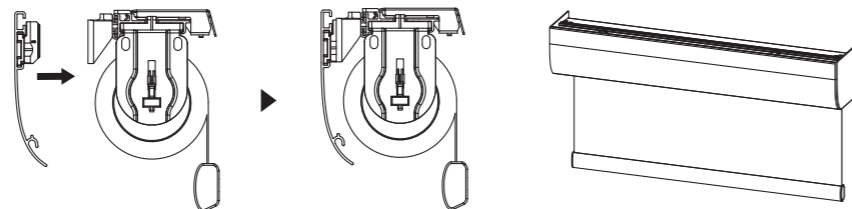
③ バランスキャップの取り付け

バランスキャップを下図の通り、溝に合わせて差し込みます。



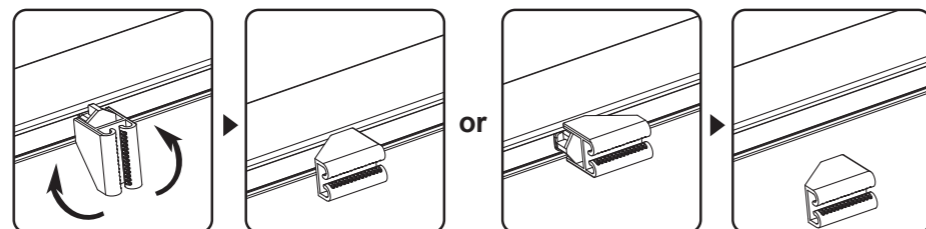
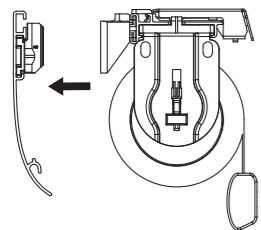
④ バランスとヘッドレールの取り付け

ハンガー固定ベースをスライドさせ、バランス固定ハンガーと合わせてから水平に押し込みます。また、J型バランスの高さを調整する際にハンガー固定ベースがバランス固定ハンガーを付けたまま上下の調整ができます。



バランスの取り外し

- バランスを水平に外に取り出します。このとき、ハンガー固定ベースも一緒に取り外してください。
- バランス固定ハンガーを外す場合、まずはスクリーン本体を取り外します。固定ハンガーを水平にしてから、横方向にスライドさせ、ヘッドレールの端から取り出します。



電源と本体の接続

	スクリーン本体 充電電池式 (パワーロッドモデル)	スクリーン本体 ACアダプタ式
本体コンセント接続	不要	必要
延長コードの接続	パワーロッドからACアダプタまで	本体電源接続ケーブルからACアダプタまで

■スクリーン本体 充電電池式 電源起動手順

- 1.開梱時は電源が入っていません。手動スイッチを3秒長押しします。起動後、表示灯が緑色に4回点滅します。

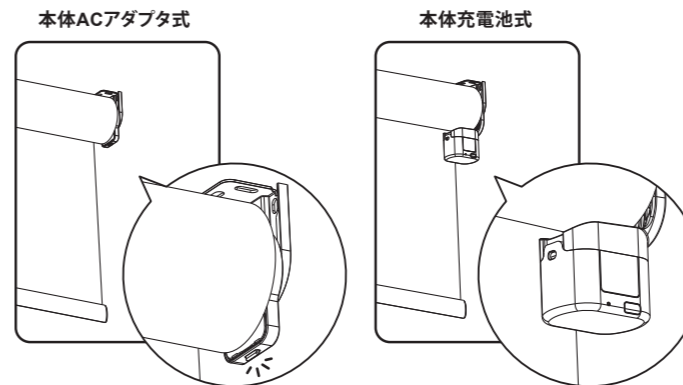
⚠ 警告 必ず本体をブラケットに設置してから電源起動手順を行ってください。

■スクリーン本体 ACアダプタ式 電源起動手順

- 1.ケーブル類を繋げる。
 - ・スクリーン本体の『本体電源接続ケーブル』からACアダプタの接続端子に接続してください。
 - ・延長コードを使用する際は、『本体電源接続ケーブル』を延長コードの接続端子に接続した後、延長コードをACアダプタの接続端子に接続してください。
- 2.ACアダプタをコンセントにさしこみます。
- 3.コンセント差し込み後、スクリーン本体に電源が入ります。表示灯が緑色に点滅し、電源が入ったことを知らせます。

⚠ ご注意ください 製品とパワーロッドはそれぞれ工場出荷時に動作確認のため充電を行っておりますが、製品使用前にはあらかじめ充電を行ってからご使用ください。

手動スイッチ機能説明



それぞれサイドキャップと充電コネクタに設置されている手動スイッチは、リモコンの電池切れや緊急時の際にスクリーンを操作することができます。
 静止中に押す：スクリーンが昇降を行います
 昇降中に押す：スクリーンが停止します。

また、電源スイッチとしてスクリーンの電源を入れる・切ることができます。
 スクリーンの電源を入れる：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回緑色に点滅します。電源が入ります。
 スクリーンの電源を切る：スイッチを3秒長押し、表示灯が4回赤色に点滅します。電源が切れます。

使用上のご注意

- ▶ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- ⚠ **警告** 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷につながる内容を示しています。
- ⚠ **注意** 製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
- ⚠ **危険** 製品の取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
- ▶ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。
- 🚫 製品の取り扱いにおいて、その行為を「禁止」する内容です。
- ⚠ 製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を「強制」する内容です。

製品全体

- 🚫 **動作環境**
本製品は動作環境が0℃~40℃の範囲内でご使用・充電をしてください。範囲外で使用・充電を行うと、バッテリーからの液漏れ、熱によるバッテリー損壊・性能低下等の恐れがあります。
- 🚫 **感電の危険性や損壊の恐れがあります**
 - ・スクリーン本体やパワーロッドの電源接続端子(金属部分)、ロッド底部の凹み内部(金属部分)に触れること
 - ・濡れた手で製品を操作すること
 - ・液体や火気の付近に近づけること
- 🚫 **分解行為**
パワーロッドや付属アクセサリの分解、部品交換、改造などをご自身で行わないでください。故障の場合は速やかに販売店にお問合せください。販売店またはメーカーの指示によらない誤った使用方法は製品保証対象外となることがあり、保証期間内でも保証を受けられません。

充電電池内蔵式スクリーンの安全注意事項

スクリーンにはリチウムイオンバッテリーが内蔵されており、バッテリーには電解液等の可燃物質が使用されています。誤った取扱方法は火災や発煙、爆発などの恐れがあります。またバッテリーの機能を著しく損なう可能性もあります。記載の注意事項を必ずお読みになり、ご使用の際はご注意ください

⚠ 危険

下記のような状況で使用・保管した場合、火災・発煙・発熱・爆発・液漏れにつながる恐れがあります

- 🚫 **水没・濡れる** 保護回路が損傷する原因となります。
 - ・高温、火気の近くでの使用・保管 例：電子レンジや調理器具の近くなど
 - ・高温になる場所(80℃以上)で放置する 例：直射日光下、車内など
 - ・非純正のアクセサリを使用する バッテリーが破裂する原因となります。
 - ・条件(動作環境範囲、電圧、電流)外で使用する バッテリーが破裂する原因となります。
 - ・リチウムイオンバッテリーの極性を誤る
 - ・AC電源コンセントで直接充電する 必ず専用の充電器を使用してください。
 - ・車のシガーソケットで充電する
 - ・非対応製品、意図しない機器に給電する
- 🚫 **金属製品と一緒に保管・移動する**
リチウムイオンバッテリーのプラス極とマイナス極に金属が触れると、ショートして大きな電流が流れ、発熱、破裂、発火あるいは金属が発熱するなどして危険です。
 - ・強い衝撃を加える
 - ・釘を打つ、ハンマーで叩く バッテリーの破損、内部短絡が発生する原因となります。
 - ・はんだ付けをする コンパートメントが溶けたり、ガス放出口などの安全機構が破損する原因となります。
 - ・分解する 保護回路が損傷する原因となります。
 - ・高温になる場所で充電する バッテリーの保護回路が誤作動し充電ができなくなったり、故障することがあります。

⚠ 警告

❗ ▶ 幼児の手が届かないところで保管する

バッテリーやスクリーンは幼児の手が届かないところで保管してください。誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

🚫 ▶ 他のバッテリーと混ぜて使わない

異なる種類のバッテリーと混ぜて使うと、容量・性質の違いにより、発熱、発煙、発火の原因となります。

❗ ▶ 製品に異常がある場合は、使用を中止する

異臭、発熱、変色、変形等異常が見られた場合、すぐに使用をやめてください。バッテリーが破損している可能性があります。

❗ ▶ 充電が完了できない場合は、充電を中止する

充電が目安時間で完了しない場合、充電を中止してください。

❗ ▶ 液漏れした場合、電解液に触れない

液体が目や皮膚に付着した場合は、こすらず、すぐにきれいな水で洗い、医師の診察を受けてください。失明や皮膚の炎症等の原因となります。

❗ ▶ 液漏れした場合、火気から遠ざける

液漏れや異臭が発生した場合、すぐに火気から遠ざけてください。漏れた電解液や気体に引火し、破裂、発火の原因となります。

❗ ▶ 運搬の際は、しっかりと梱包する

バッテリーのショートや損傷を防ぐため、スクリーンは箱等で梱包し運搬してください。

⚠ 注意

🚫 ▶ 本製品以外への給電、非対応機器での充電をしない

バッテリーには保護回路があります。スクリーン以外の機器への給電や意図しない充電機器を使用すると、保護回路が故障する可能性があります。

▶ 充電方法

❗ ご使用前に必ず本書をお読みになり、正しい方法で充電を行ってください。

▶ 初回使用時

❗ 初回使用時、異臭・発熱・サビ等が見られた場合、すぐに使用をやめ、販売店へご連絡ください。

▶ 可燃物付近での使用

🚫 可燃物の近くで使用・充電を行わないでください。発火により火災の恐れがあります。

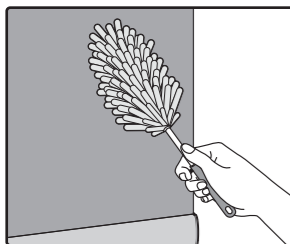
▶ 露出されたリード線や金属端子部の取り扱い

❗ 断線等でリード線や金属端子部分が露出した場合、危険ですので電気絶縁用ビニールテープなどで一時的に絶縁処理を行ってください。感電やショートにより発熱、破裂、発煙、発火の原因となります。

▶ 廃棄方法

❗ ご不要になった場合、各自治体の指示に従って処分してください。

お手入れ方法



- 日頃のお手入れは、小型ほうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。汚れがひどい時は、やわらかい布で部分的に水拭きしてください。洗濯や洗浄力の強い洗剤は使用しないでください。ドライクリーニングもおすすめしません。また、低吸引力のハンド式清掃機の利用も可能です。



警告 スクリーンに深刻な影響を与えるような洗剤、硬い掃除道具などは使用しないでください。またお手入れするとき生地を折らずにお掃除ください。

梱包材の処理方法

- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処理してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

メンテナンスシールについて

- お買い上げいただいた製品情報はメンテナンスシールに記載しております。製品に関するお問い合わせはメンテナンスシールをご確認ください。

ノーマンジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-23-15 A-PLACE 代々木 3階

お客様サービス窓口：0120-051-507 (お問い合わせ時間：平日9時30分～18時)

ホームページアドレス：

<http://www.norman.co.jp>